

伝統の製法守れ

石川県の代表的な伝統工芸品・美川仏壇を扱う商工業者で組織する美川仏壇組合は「美川仏壇」の商標登録に乗り出す。これまでの商標法では、地名と商品名を組み合わせた「地域ブランド」は原則としてマークなどの図案がなければ、文字や名前だけで登録できなかったが、四月の法改正に伴い、登録実現の見通しが立った。他産地の仏壇でも「美川」の名を冠している例がある中、組合は独特の技法を持つ美川仏壇のブランドを守り、伝統が培った高度な技法と製法を継承する。

美川仏壇組合によると、美川仏壇は商標登録されていないことから、ブランド力に便乗し、明らかに他の産地で作ったと見られる仏壇を「美川仏壇」として販売するケースが後を絶たなかったという。しかし、こうした同業者に対して、違法な製造、販売だとして訴える法的根拠もなかった。

四月の商標法改正で、「美川仏壇」も条件付きで登録が可能となり、虚偽の美川仏壇の表示を罰則対象とすることが可能となる道が開けた。このため、同組合は、「美川佛壇協同組合」と改称したうえで、組織を法人化することにした。四月以降、同組合では本物とそれ以外の商品とを区別す

法改正で商標登録

地域ブランド化



ブランドを守るため、商標登録することになった美川仏壇を制作する業者
＝白山市美川北町

るため「美川仏壇」商標パンフレット、店内表示などに「美川仏壇」の名を記して販売している県内の同業四業者らに対し、商標登録を行う旨の「通知書」を送付した。通知書では、木地に使用するため「美川仏壇」商標を商品に取り付けることを組合員に義務づける。さらに登録申請に先立ち同組合は、先月三十一日付で、既に店外看板や、

他産地の 便乗品 締め出し

用する木材など、独自に定めた「美川仏壇」の製造基準を盛り込み、名称や店内表示、広告を出さ使用を希望する場合は、商品基準を満たしているかどうかの検査を受けたうえで組合に加入する

か、ないしは同組合に無断で「美川仏壇」の看板や店内表示、広告を出さないよう求めた。北島与八郎美川仏壇組合長は「本物ではない美川仏壇に、美川仏壇を名乗らせるわけにはいかない。伝統ある美川仏壇ブランドを末永く守る。

連れ去り騒ぎ
一時緊急配備
金沢、男女トラブル
二十七日午後、金沢市内で女性が白色の外国製高級乗用車に連れ去られたと、二〇番通報があり、石川県警が一時、

緊急配備を敷いて行方を捜す騒ぎがあった。結局、男女間のトラブルと判明したが、振り回された県警側は困惑気味だ。

調べでは、同日午後二時過ぎ、金沢市平和町の路上で「若い女性が白い車に連れ去られた」と通報があり、金沢中署などが略取の疑いがあるとみて捜査、車の行方を追ったところ、同市横川の駐車場で発見。車内にだれもおらず、同署などは事件性があるかどうかについて調べたところ、数時間後に男女間のもめ事と分かった。

美川仏壇 白山市
美川地区で作られてきた仏壇の総称。約500年前の室町時代、戦乱を避けて本吉村(当時の美川)にきた都の仏壇造り職人が手がけたのが始まりと伝えられる。型板を使って漆の生地に立体的な紋様を作り出す美川仏壇独特の堆黒(ついこく)の技法などに代表される「堅牢(けんろう)、壮麗、華麗」が特徴で、1988(昭和63)年に石川県伝統工芸品に指定された。



さらに2人を逮捕

愛鶏園 上層部の関与追及へ

茨城県の鳥インフルエ
ンザ問題で県警生活環境課は二十七日午後、家畜伝染病予防法違反の疑いで、養鶏会社「愛鶏園」(横浜市)の獣医師と社員の計二人を新たに逮捕した。逮捕者は計四人になった。

茨城県の鳥インフルエ
ンザ問題で県警生活環境課は二十七日午後、家畜伝染病予防法違反の疑いで、養鶏会社「愛鶏園」(横浜市)の獣医師と社員の計二人を新たに逮捕した。逮捕者は計四人になった。

茨城県の鳥インフルエ
ンザ問題で県警生活環境課は二十七日午後、家畜伝染病予防法違反の疑いで、養鶏会社「愛鶏園」(横浜市)の獣医師と社員の計二人を新たに逮捕した。逮捕者は計四人になった。